

令和4年度第5回西播磨圏域自立支援協議会相談支援部会 議事録

日時:令和4年12月21日(水)

13:30~15:30

場所:龍野庁舎 第1会議室

司会:イーハトーブ

記録:赤穂市社会福祉協議会

1. 開会 龍野健康福祉事務所より
 - ・新型コロナの流行が第八波に入り、増加中
 - ・2月は「令和4年度 兵庫県相談支援フォローアップ西播磨圏域研修会」と相談支援部会の合同開催

2. コーディネーター連絡会議より
 - ・大きな報告はなし
 - ・法定研修:相談支援従事者現任研修(下半期) 年明けよりオンラインで開催
 - ・専門コース別研修:
 - (リーダー研修)モニタリング結果の検証と 基幹相談支援センターの役割 11/2
 - (相談支援専門員・市町職員・基幹相談支援センター等職員向け)意思決定支援の展開 12/8
 - ・基幹相談支援センター向けに実態調査アンケートを行うことを計画(内容について検討中)。
 - ・他圏域の情報:虐待研修を計画しているところが多い。
 - 医療的ケア児・者への支援、実態調査をどうするのか?を議論
 - ・西播磨圏域:令和4年度 兵庫県相談支援フォローアップ西播磨圏域研修会 2/21

3. 特定相談支援・障害児支援・地域移行支援・地域定着支援の実施状況について
 - (A 事業所)
 - ・婚活して結婚。しかし相談員には相手がどんな人なのか分からない。心配があったがモニタリング時に夫と会い、確認ができたことで終了。
 - ・児童の新規が多い。重心の方が自宅に戻るための新規利用も。

 - (B 事業所)
 - ・新規は就労支援が多い。
 - ・入院中の方で環境調整が上手くできず退院がなかなかできなかったが、地域移行支援でかわりをもつ。

 - (C 事業所)
 - ・相談員3名体制だったが、今年度早々に2名退職。兼任だが森田氏が12月より着任。
 - ・相談員が少ないため市外の方は別事業所へ。高齢で亡くなった方も。
 - ・65歳を超えていたが調整し、本人希望にてグループホームより施設入所となった。

 - (D 事業所) 欠席

 - (E 事業所) 欠席

(F 事業所)

- ・過去にグループホーム入所の際夜間外出や他害などの問題行動があった。環境整備し、グループホームを再チャレンジ中。
- ・グループホームでコロナクラスター発生。モニタリングは電話で行えたが、訪問できない状況となり、終息と同時に訪問に回った。

※モニタリング票の郵送やポスティングという方法があるが、郵送だと月跨ぎとなることも。

PDFなどに電子化している事業所はある？ ➡ 行っている事業所は無し

- ・視覚障害者(糖尿病性白内障)の方が働ける就労継続支援A型事業所を探している。クローバー(姫路)、エグゼ(姫路)、フロンティア(赤穂)、げんぶ(赤穂)には見学に行った。リサイクル系の仕事があれば情報提供して欲しい。

➡ 未来計画(姫路)はパチンコ台の解体をしている。

(G 事業所)

- ・時期的なのか調子の悪い人が多い。

(H 事業所) 欠席

(I 事業所)

- ・新規は児童3名
- ・小学校入学後、3年生になり「教室で過ごすのがしんどい」「学習についていけない」児童が増えていく。保護者が支援級に行くことを受け入れられない。説明が難しい。

(J 事業所)

- ・児童は利用先が大変少ないため、利用先が決まってからの相談となっている。
- ・者は就労希望の方が多く、利用に繋がるまでに時間を要する。

(K 事業所)

- ・人員の変化はあるが、3名体制で頑張っている。
- ・法人情報:いちょう園 3~4名の空きあり、女性用グループホーム 空きあり

(L 事業所)

- ・新規2名 利用開始し、それなりに落ち着いている。
- ・児童で入院中にコロナ罹患し退院が伸びている。帰宅時の支援を誰が行うのか佐用町と右往左往している。佐用町の保健師と連携を取り、地域に帰って来れるよう支援する。
- ・県の強度行動障害地域生活支援事業:月1回の話し合いが続いている。近いうちに落ち着く模様。

(M 事業所)

- ・新規の女児。弟には中程度の知的と自閉があり、姉よりも以前にサービスが入っている。癩癩と多動あり、市の言語聴覚士が入っていたがサービスには繋がらず通常級に入学した。母の思いと支援者側にズレがある上に、母は来春出産予定。母のことも考慮しサービスを入れる。

(N 事業所)

- ・新規相談が時々あるが、受入れが難しい。丁寧な相談をするために新規受入れを悩む。2~3ヶ月に1

回程度しか新規をとることができない。

・児童の相談が多い。

(O 事業所)

・新規の糖尿病の方。結果として1週間で死去されたが、医療との連携が難しかった。

・就労継続支援B型事業所の体験利用後、利用の可否に随分待たされた挙句、「事業所の体制が整っておらず受入れが難しい」と言われる。現時点でまだ自宅に居る状態。

(P 事業所)

・就労継続支援B型事業所に実習に行った後、随分待たされた挙句利用却下となった。「従来の利用者の不安解消のため新規は受入れられない。」というのが事業所からの却下理由。それなら実習しなくてもよいのでは?と感じた。たつの市基幹とたつの市地域福祉課に報告した。

※当該事業所は西はりま障害者相談支援センターより報告のあった事業所と同一事業所。

(Q 事業所) 欠席

(R 事業所)

・知的障害の女性。家族の反対を押し切り結婚したが、相手がどんな人なのか分からない。今後他市に転居予定だが、本人からの情報から推測する限り今後の生活に不安を感じる。転居後はサービス利用の予定がないため、本人了承のもと他市の基幹に情報提供する予定。

(S 事業所)

・児童の相談が多い。

(T 事業所) 欠席

(U 事業所)

・新規が増えてきている。

・医療的ケア児(幼児)。相談に繋がる前に家族がコロナ感染し、生活に必要なものが手に入らず困ったことがあった。

・県の強度行動障害地域生活支援事業:行動障害があり、親が困っていた。12/12~あかりの家での生活が始まった。咳や大きな声に反応する方だが、それで怒ったり大声を出さず今のところできている。

(V 事業所) 欠席

(W 事業所)

・1歳6ヶ月の時、地域の保育所を申し込んだが、保育士不足・体制が取れないとの理由で全てを断られた。そのため児発で日中を過ごしている。あちらこちらに相談しているが2歳になっても断られた。受入れができる他市に転居し、通常の保育所に申込みをした。結果として住居を移さざるえなかった。

(X 事業所)

・実績は記載の通り

(Y 事業所)

- ・西はりま障害者相談支援センターとイトートハープより報告のあった事業所の件。2名とも基幹がかかわっていた。次の機会に報告できれば…

(赤穂市基幹)

- ・相談支援部会にてサービス種別ごとの事業所一覧を作成中(放デイのみ作成済み)
ひな形を作成し、各事業所に記入してもらう。

(宍粟市基幹) 欠席

(相生市基幹)

- ・10月11月の相談件数 143件 福祉サービス、不安の解消が多い。同じ人の相談もある。

(ブランチ)

- ・2ヶ月で150件の継続相談。新規も2ヶ月で30件。2才前~90才近くの人、認知症?の人も
- ・早急に対応したいが予約がいっぱい入っている。
- ・検査依頼が多く、検査は4月まで予約が入っている。

4. 情報交換

- ・北海道のグループホームで知的障害のある入居者が施設内で結婚や同居を望んだ際に不妊処置を提案していた問題 ➡ 人権無視だが兵庫県の実態はどうか? 県に報告を上げたい。
- ・グループワーク:①相談支援部会でやりたいこと②各市町でやりたいこと③〇〇と一緒にやりたいこと
豊岡市では空き情報がリアルタイムで分かる。西播磨圏域でもできないか?
赤穂市で作成中の情報シート(できれば相談員の見立ても入れた)を西播磨圏域でも作りたい。
加算の簡単な取り方について話合いたい
他圏域の状況を知りたい(相談支援部会で上っている問題など、良いところは真似したい)
各市町の自立支援協議会の現状について知りたい(実際何をして、どのように動いている?)
計画書等の電子化
基幹の作成した計画やモニタリングを知りたい
具体的な実践例の検討会
医療的ケア児等コーディネーター養成研修を受けたが、医療的ケア児の受入れ先はない
事業所間の交流、顔の見える関係づくりの場
精神科病院との交流、病院との連携や情報交換の場
医療的ケア児や高次脳機能障害の人が病院から地域に戻る時の医療と福祉の連携
(福祉よりもう少しアプローチが必要)
知的障害者の高齢化に伴うケアマネジャーとの連携

介護保険に向けてケアマネジャーとの勉強会
引きこもりへの支援方法を学ぶ場

5. その他

- ・令和4年度 医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修 オンデマンド配信(1/16~1/31)
対象:医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者

6. 閉会

<次回予定> 令和5年2月21日(火) 9:30~12:00
フォローアップ研修会(西播磨総合庁舎1階 大会議室)